体験活動参加型(保育園)

学校名等	飛騨市立増島保育園
実施日時	平成27年7月4日(土) 9時半~11時半
会場	ハートピア 多目的ルーム
参加人数	親子 合計150名
学習課題(分野)	H27 第2回幼児学級 「親子で笑って楽しもう!!」
運営者の願い	1.「毎日慌ただしくてじっくり子供と向き合えていない…」などという保護者の声から、子供たちとじっくり関わり、一緒に笑って楽しめる幼児学級を目指す。2. 講師に頼らず、保護者の力を借りて企画・運営をし、子供たちに親のパワーを感じてもらいながら、同時に保護者間の連帯意識を高める。

学習の内容

第2四幼児学級「親子で笑って楽しもう!!」

く 協力依頼 >

☆5月の保護者総会にて、一般保護者への「協力依頼文」を作成し配布する。 幼児学級を盛り上げてくれるパフォーマーを保護者より募集し、10名の協力が得られ た。

< 内容 前半 > 「Let's Have Fun in English! 〜親子で英語を楽しもう!〜」

講師:年少保護者の佐藤氏(ECC ジュニア講師)

☆挨拶をしよう

シールを交換しながら英語で自己紹介。

☆動物ジェスチャーアクティビィティどの動物かな?動物あてゲーム

☆英語で歌おう

各学年、歌の披露

☆色を使ったアクティビティ カラーボールを使って色あて遊び

☆ビンゴ

この日覚えた単語+アルファベットでビンゴ

お互いに自己紹介をし、大人の名 刺のようにシールを交換し合う。

POINT!!

子供の頑張りを披露する場がある事で参加率をUPする作戦!!

景品は全て手作り⇒牛 乳パックブーメラン、 キャラクターメダル

< 内容 後半 > 「大きなすいか」保護者劇公演

(「大きなかぶ」をパロティ仕立てにした劇)





☆脚本から演出まで、全て保護者の力で実施。役員以外の保護者の力も集結。劇の中には、子供たちが喜ぶ「ニンニンジャー」や「ニャーKB」のダンスを取り入れて構成した。

< 劇 参加者の声 >

- ・演じる側が、園児の身近な「○○ちゃんのお父さん・お母さん」であるため大変な盛り上がりで大成功!準備・練習は確かに大変であったが本当にやってよかった。
- ・普段はこんなことはできないが、「子どものため」と思うと、なんでも出来る。
- ・とても楽しかったし、保護者間の連帯意識も UP した。

く アンケートより >

- ・いろいろな工夫があって楽しむことが出来た。子供も大人もみんな笑顔になれ元気をもらった。
- ・最後まで引きつけられ、観ている方も一体となり盛り上がっていた。演じている方がとても楽しそうでその笑顔にひきこまれた。
- ・子供とじっくり関わる事がほとんどないため、子供の嬉しそうで満足そうな顔をみてとても嬉しかった。これからは家でもそんな時間をつくれるように努力したい。

< 成果と課題>

○参加率も年々アップし、子どもも保護者も楽しんだ。保護者間の連帯意識も向上した。 △より多くの親子を巻き込んだ活動にし、子供のためにも親のためにも、「輪」を広げてい きたい。 保護者自身の手による企画・運営というのは珍しいことではありませんが、「英語講師」や「劇の脚本〜出演・裏方」にいたるまで全て保護者の手で行われたと聞いて、大変驚きました。しかも、一般の保護者の方の協力を得ながらの運営となっています。



保育園にポスターを掲示。同じ ものを各家庭にも配布。

去年の同時期に行われた第2回幼児学級より参加率がアップし保護者間の連帯意識も高まりました。また、「講師」や「演じ手」が身近な大人であったため、子供たちの楽しさは倍増して大変な盛り上がりでした。保護者の頑張りに、子供たちも元気をもらったた一日でした。



自己紹介をしたらシール 交換ね!

增島保育園女資料



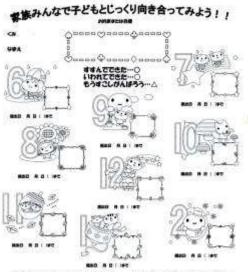
一般保護者への 「協力依頼文」を 作成し配布

タイムテーブルを作成し スムーズに進行

高限を押しもう Lots Sans Serin Englate かんんターサル 利度 (18/19/大王の第2条() - 57/(東京の数2 () (2017年) ATTON OPACHI BENTAY 化水川サ 水津、味料、ベンの存在 されてい マイク のフィトボード ā, かっかった。 他は一点を人見る) では「発達品 Sheet. のもびっこいウス ・必然チェック(年刊) ・記録主義子(日報) WIND WIND 動物・小を立て流しい子はちびっ ウンドの何うで質って言いてもらう - NOTHER - GRAZING 保証の内閣で の学者への意義 (他の形をなった。選集で mane an'n have the Employ D推荐、各株の書い方(10H) 教護:第1 ペアを含る機能 ((私事をだけ物学年を) 2条株を表示とグラマッピティ 11660 Manus mit を受ける(1811) 日本の後(第1.20~)・サンステービアと ペアを作る時期 Person 中央教育・ション pathog polyphysics

各学年ごとに、カラーボ ールを使って、英語で、 「色あて遊び」





☆テーマ : 「家族みんなで子どもと向き合って みよう!」

☆運営者のねらい:

①子どもとじっくり向き合い頑張ろうとす る姿を見守り家族みんなで応援しよう。 ②これを契機に家族間の会話も増やそう。

☆活動内容:

- ・子どもと話し合って「約束・目標」を決定。
- ・家庭掲示用カードを目につく所に貼付し家 族全員で応援する。
- ・「在宅取組シート」で毎月振り返りをして もらいチェック。

☆活動期間:

6月~2月(9ヶ月間)



家庭掲示用カード

在宅取組活動 我が家の約束・・・!!